

地域情報

(一社)熊本県野菜振興協会菊池支部

タバコナジラミの冬季防除について

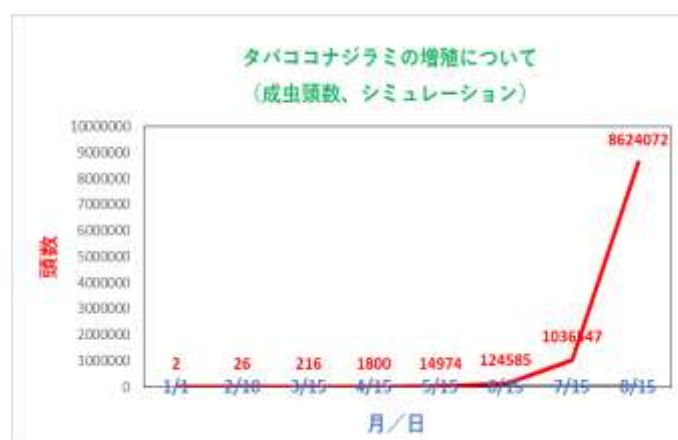
菊池地域では、主なウリ科野菜として春スイカ、春メロン、秋冬メロン、秋キュウリが栽培されていますが、退緑黄化病(スイカは退緑えそ病)の被害が多く発生していました。退緑黄化病(退緑えそ病)は CCYV によるウイルス病でタバコナジラミにより媒介されます。タバコナジラミは多数の植物に寄生し増殖スピードが速いため防除が難しいウイルス病です。

農業普及・振興課では、多数の機関等と連携して各種会議、調査、講習会、巡回指導を行うなど地域ぐるみの防除対策を実施しました。

特に、従来の防除対策「入れない、出さない、増やさない」に加えて、菊池の気象に着目した防除対策に取り組みました。

具体的には、苗によるウイルスの持ち込み防止に加えて冬季防除の普及について取り組みました。タバコナジラミは -2°C で完全に死滅するので、冬季に必ず -2°C 以下になる菊池地域の野外で生存できません。また、菊池地域における冬季のハウス栽培は主にスイカのみなので、スイカの冬季防除を行うことで8月中旬までのタバコナジラミの頭数が大幅に減少し、退緑黄化病(退緑えそ病)による被害が皆無か減少しました。

農業普及・振興課では、更に冬季防除を徹底するとともに、他の地域や害虫対策にも波及するよう情報提供を行っていきます。



1月にたった雌雄2頭だったタバコナジラミが8月には862万頭以上に増えてしまいます。